

ひまわり通信

2022年（令和4年）

6月3日

本郷小学校 ひまわり学級

NO.9



立場が変わると



立場が変わると新しい視点で物事が見える、という経験をすることがあります。個人的な経験で言うと、家で洗濯を担当する期間があったときのことです。それまでは、息子たちの服や靴下の脱ぎ方は見ているようで見ていなかったことに気がきました。いざ、自分が洗濯を担当するようになると、「靴下を裏返しのまま脱いでいる」とか「服とシャツを重ねたまま脱いでいる」とか、そんなことが気になってきました。自分が洗濯をするようになると、それら一つ一つを戻しながら洗濯をしないといけないので、わが子には「きちんと裏返して脱いでね。」と伝えるようになりました。

「立場が変わる＝自分が主体となってする」となると洗濯物の脱ぎ方一つでも、見え方が変わる。そんな経験をしました。

ある日のふりかえり

先日の自立活動で、ある子が以下のような振り返りを書いていました。

「ルールを決めるのがたいへんだった。先生の気持ちが分かった。」

この日は、風船バレーのルールを自分たちで考える活動をしていました。「みんながより楽しめるためには？」という視点で新しいルールを加えたり、今あるルールをなくしたりしていました。その中の一つに「風船を二つにする」という意見が出てきたので、実際にやってみました。するとなかなかうまくいかず、「結局、風船は一つの方がいいよね。」という話し合いになりました。

今までは「決められたルールを守る」という立場のみでの活動でしたが、今回は「ルールを作る」という立場になったことで、新しい視点で物事を見ることができるようになった気がします。「立場を変えて考える。」「相手の気持ちになって考える。」このような考え方が、今後の子どもたちの成長につながることを期待しています。